

温室効果ガス観測技術衛星等による排出量検証に向けた技術高度化事業



【令和3年度予算(案) 2,940百万円 (1,995百万円)】

【令和2年度3次補正予算(案) 3,853百万円】

衛星等による人為起源温室効果ガス排出源の特定および排出量推計精度の向上を目指す

1. 事業目的

- ① 各国が自らGOSATシリーズを用いて温室効果ガス(GHG)排出量の比較評価を実施できるよう、継続的な全球観測体制の維持を行う
- ② グローバル・ストックテイクへの貢献を目指し、客観性の高い独立した排出量検証手法を確立する

2. 事業内容

1. GOSAT-2衛星観測システムの運用

- 2018年に打ち上げたGOSAT-2の運用(衛星の軌道制御、健全性の確認、捕捉・追尾、データの受信・処理、観測データの品質管理等)を継続実施する

2. GHG濃度算出と人為起源排出量の推計と検証

- GOSATシリーズ等の観測データを用いて、GHG排出インベントリとの比較・評価を実施する
 - (1) 濃度算出アルゴリズムの高度化
 - (2) 高次プロダクトの検証
 - (3) 人為起源GHG排出量推計と検証

3. GOSAT-GW衛星観測システムの製造

- 宇宙基本計画及び工程表に基づき、開発モデル(エンジニアリングモデル)による性能試験やGOSAT-2の評価結果を踏まえて、GOSAT-GW衛星観測システムの製造を進める

3. 事業スキーム

- 事業形態 委託事業
民間事業者・団体
- 実施期間 平成26年度～

4. 事業イメージ

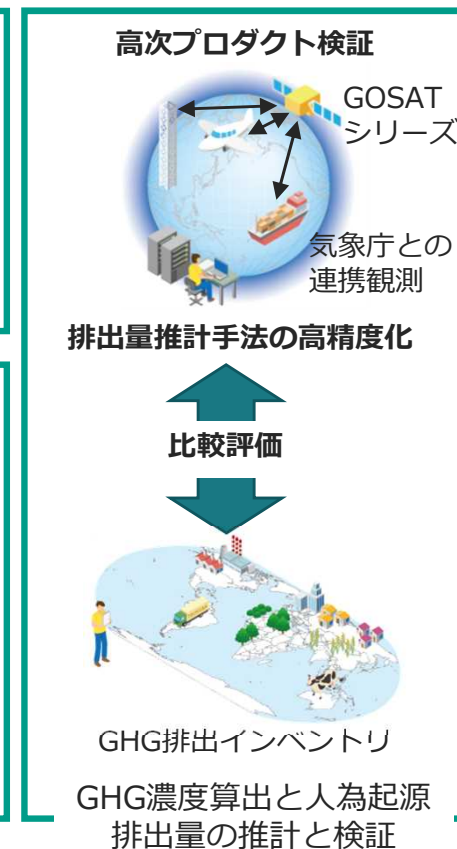
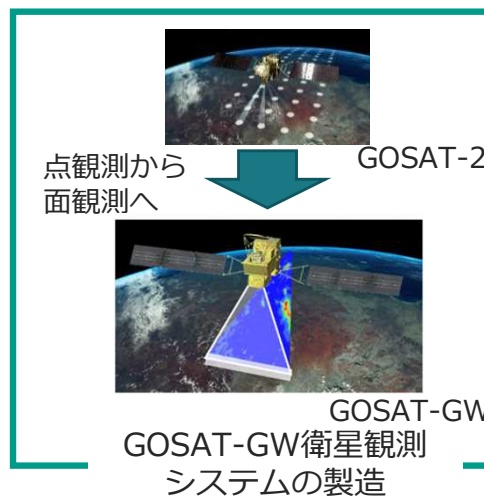
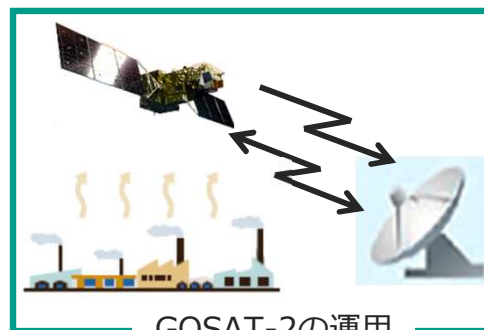


Image courtesy of JAXA and NIES

お問合せ先： 環境省地球環境局総務課脱炭素化イノベーション研究調査室 電話：03-5521-8247